



NEWSLETTER

1988. 7 No.2

〒221 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 電話(045)481-5661(代) 神奈川大学外国語研究センター

★ 新刊書紹介 ★

David Crystal, with cartoons by McLachlan,
Rediscover Grammar with David Crystal,
Longman, 1988, Pp. 2-223.

伝統(古い)文法はギリシャ時代に溯って約二千年の間、学問を志す者たちを魅了してきたのであるが、近年になって文法はあまり人気がなく、その学習価値が不確かになって、多くの中学・高等学校などでは積極的に教えられなくなってきた。こういった教育情況の中で、もう一度《文法再発見》を求める人々と、過去の忌まわしい記憶から立戻れない人々がいる。こうした文法という

名に対する偏見を拭い去り、文法を人間のことばの規則という観点から文法の学習を考えていこうとする著者の姿勢が、この本から感じられる。

この文法書は二つの方法で利用できる。一つは、一般の書物と同じように初めから終わりまでを読み通すことにより日常無意識に使う「ことば」の中の規則とその例外を把握するために、もう一つは、手軽に辞書として用いることができる。家庭や学校等で、どのような方がいい方が正しいのか、又どのような文体が好ましいのかといった問題がある場合に、この本の実例を参考できるように整理されている。ここで扱かれている用法は、口語、文語、形式的な表現、あるいは日常的な表現、方

言、文学上のことはそして文体について幅広く取り上げられている。

「ことば」は、すべて規則通りには分析できるものでもないし、又「ことば」の規則そのものは完全なものではないという著者の主張を踏えて、例外あるいは、文法的分析が難しい用例については Caution という項目を定めて簡単に説明を加えている。この Caution の部分は赤色で目立つように工夫し、大層役に立つ情報を整理している。例えば、他動詞、自動詞の箇所では、say, mean が通常他動詞であるが、熟語的に用いられるような場合、‘I say’, とか、‘I mean—really !’ といった表現となると、これらの動詞は自動詞となり、又

逆に go という動詞では Will the day go the course ? という文ででは go は他動詞となるという説明を加えることによって、他動詞、自動詞の区別が必ずしも一定でないという事実を示している。全体の構成方法は、各項目で重要と思われる情報を太字で印刷し、更に赤黒の色の区別によって説明文と例文を見やすくし、所々に漫画のさし絵を入れて文法学習に楽しいイメージを与えようとしている著者の努力がうかがわれる。

学生、教師、一般向けのハンディーな文法書である。

古岩井嘉蓉子